

# 平成 28 年度弘前大学グローバル人材育成事業モデル事業

## 学生市民等協働プログラム報告書

申請者	所属部局・職名	人文社会科学部・教授
	氏名	黄 孝春
事業名	香港における県産りんごの現地調査と試食販売	
事業の概要とその成果		
<p>【構成メンバー】 9名</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・チームリーダー（人文社会科学部）氏名 黄孝春（教授）</li><li>・指導教員（人文社会科学部）氏名 黄孝春（教授）</li><li>・参加学生（人文学部） 5名（3年生）</li><li>    〃（人文社会科学研究科） 1名（1年）</li><li>・事務職員（国際連携本部） 1名（事務職員）</li><li>・市民，企業人（ほたる農園） 1名</li></ul> <p>【実施期間】 平成 28 年 11 月 23 日～平成 28 年 11 月 28 日</p> <p>【事業概要とその成果】 『青森県輸出拡大戦略』（青森県観光国際戦略推進本部，平成26年3月）が農林水産品を輸出最重点戦略分野に決め，対象品目と対象国・地域を指定している。なかでも青森県産りんごの輸出拡大が最重要課題とされる。平成26年産と27年産りんごの輸出は2年連続で3万トンを上回り，最大の輸出市場は台湾，香港と中国大陸などの中華経済圏である。特に香港市場への輸出が急増し，輸出拡大に大きく貢献している。</p> <p>今回は香港市場における県産りんごの消費者動向を調べることを目的にしている。ふじ王林，トキなどの既存品種りんごの試食販売を通じて輸出拡大の方策を探ってきた。</p> <p>まず11月24日は香港の輸入果物卸売市場への実地調査，輸入商社への聞き取り調査，量販店や専門店への見学などを通じて，香港における輸入果物の販売状況について考察した。次にそのうえで，現地の量販店3カ所で県産りんごの試食販売コーナーを設け，試食販売を行った。店に来られた顧客にどのように県産りんごを紹介し，またどのようなことが顧客の購買行動につながったのか，いろいろ試行錯誤をしながら，売れた時のうれしさと売れなかった時の悔しさを肌で経験してきた。売り場の企画や販売企画を自らの頭で考え，自ら行動することにより，国際的なビジネス感覚を涵養することができた。今後，発表会等で地元業者に今後の販売戦略を提言するなど，その成果を地元還元したい。</p>		